

2027年度アートによる地域振興助成 公募プログラムのご案内

現代アートをはじめとする表現活動を通じて、
地域や社会との新たな関係性を生み出す実践を支援します。

応募受付期間：2026年10月1日(木)～31日(土)

ごあいさつ

地域とは、放っておけば静かに衰退するものです。

しかし同時に、誰かが本気で関わり続けられれば、驚くほどの力を発揮するものでもあります。私がベネッセアートサイト直島で日々向き合っているのは、まさにこの問いです。

直島・豊島・犬島で積み重ねてきた実践の本質、文化・芸術を軸に据え土地の力を引き出すことを守りながら、同時にその先へ踏み出す。瀬戸内の海や風土、そこに暮らす人々との関わりをさらに深め、アートや建築を中心とした芸術文化の可能性を拡げていく。それが私たちの現在地です。

こうした思いのもと、昨年度は直島新美術館の開館と瀬戸内国際芸術祭の開催という大きな節目を迎え、多くの皆様に瀬戸内へお越しいただきました。

直島新美術館はアートと地域社会の接続をこれまで以上に強く意識して構想したものであり、瀬戸内国際芸術祭では各地域の歴史や文化に根ざし、個性を尊重しながら、地域住民・アーティスト、そして訪れるゲストとのあいだに数多くの新たな出会いが生まれました。

私たちは自ら地域の中に立ち、住民とともに美術館を運営し、行政と協働して芸術祭を動かすプレイヤーです。その手触りがあるからこそ、助成という行為にも確かなリアリティを持って臨むことができると信じています。

当財団の助成事業は、活力あふれる個性豊かな地域社会の実現と発展に寄与することを目指しています。日本各地で、多彩な手法で地域づくりに取り組まれている皆様と手を取り合いながら、それぞれの地域が抱える課題に向き合っていきたいと思います。

地域が抱える課題も、そこから生まれる創造性も、一つとして同じものではありません。

時代の流れとともに形を変えていく地域活動やコミュニティの在り方をしっかりと捉えながら、地域づくりについて絶えず考え続けていくことが重要であると考えております。

その変化を恐れず、むしろ原動力に変えていく知恵と胆力を持った方々と出会えることを、心より楽しみにしています。

2026 年 6 月吉日



公益財団法人 福武財団
理事長

福武 英明

1 公益財団法人 福武財団について

公益財団法人 福武財団は、2004年に、地中美術館開館を機に設立された「直島福武美術館財団」を前身としています。2012年10月、基本理念を同じくしながら、それまで独自に活動を続けてきた「福武学術文化振興財団」と「文化・芸術による福武地域振興財団」を吸収合併し、新たに「公益財団法人 福武財団」を設立しました。

福武財団は、日本の近代化の流れの中で行われてきた破壊と創造の繰り返しを見直し、「在るものを活かし、無いものを創る」を信条に、人々がよりよく生きる地域をつくること、お年寄りの笑顔が素晴らしい地域をつくることを目指し活動しています。そのために、以下の3つの事業を推進しています。そして、ここでの実践を日本全国、さらには世界に発信し続け、変革への志を持つ人々と共有し、個性と魅力にあふれた地域作りに貢献していきたいと考えています。

1. 美術館事業

美術館活動による地域の活性化



地中美術館（香川県直島）

写真：藤塚光政

2. 助成事業

アートによる地域振興助成および
瀬戸内海地域振興助成



2016・2017年度 文化と芸術による地域振興の助成
成果発表会（2018年実施/新潟県十日町市）

3. 自主・共催事業

文化・芸術を振興する国内外の交流事業
（芸術祭の共催、シンポジウムの開催等自主事業）



瀬戸内国際芸術祭

写真：宮脇慎太郎

2 福武財団の助成事業について

助成事業では、「地域振興」という共通の目的の下、地域に向き合い、その土地固有の魅力を見出し、地域住民と地域に関わる人々と協働した活動を行う団体・個人を支援します。

活動においては、社会情勢の移り変わりやコミュニティの在り方の変化を捉え、その地域らしい未来を描くことで、様々な表現や手法が考えられます。これまでの通例にとらわれず、創造的で文化的な表現・活動を期待しています。

また、当財団の助成事業では、たとえ採択に至らない場合でも、実りのある機会が創出できるよう、選考過程も重要視しております。応募書類は活動内容を改めて客観視していただけるよう、記入項目が多い設計となっています。

採択後は、各助成対象者が掲げた事業活動の目標を達成いただけるよう、また、継続的に活動し、地域へ貢献していただけるよう、様々な支援プログラムにご参加いただけます。助成を受けている年度でなくても、過去の助成対象者として、他の助成対象者や当財団と知見やネットワークを共有し、相互協力関係を築くことが可能です。助成対象者のご活動が、当助成事業の目的にある、活力のあふれる個性豊かな地域社会の実現につながることを期待しております。

3 2027年度 アートによる地域振興助成 募集要項

2027年度助成の申請を検討される皆様へ

本助成では、現代アートをはじめとする表現活動にしか成しえない、地域や社会との関係性のあり方を、皆さまと一緒に考え、探求していくことを目指しています。

応募にあたっては「スタートアップ枠」または「一般枠」のいずれかを選択してください。「スタートアップ枠」は、構想を固めつつ実現に向けて模索をしている事業を対象に、可能性や意欲を重視して選考します。「一般枠」は、すでに実施中の事業で、地域との関係性や継続性を重視して選考します。

地域の特性を捉え、地域の人々や行政との協力のもとで行う実践的な事業のご応募をお待ちしております。

助成趣旨

日本におけるアートプロジェクトの立ち上げと継続的發展を支援することにより、個性豊かな地域が日本各地に生まれ、發展していくことをねらいとします。

募集概要

対 象 事 業 / 日本国内で実施される事業で、以下の要件を満たすもの

■ 現代アートをはじめとする、同時代的な表現を用いた事業であること

■ 地域での表現活動を通じて、その地域や広く社会に対して好影響を及ぼそうとしている事業であること

■ 営利を目的としない事業であること

■ 当助成からの助成回数が通算5回に満たない事業であること（2019年度より適用）

※作品展示のみなど、表現そのものを目的とした事業は対象外です。

応 募 資 格 / 対象事業：非営利法人・非営利団体

※株式会社などの営利法人や個人の場合も、当助成の趣旨に沿った活動であれば、対象となる場合があります。

応 募 区 分 / 2つの応募区分から、活動の段階に応じたものを選択してください。

A. スタートアップ枠

構想が固まり、これから実現していく段階の事業、または事業を実施しながらその在り方をつくりあげている段階の事業。概ね事業開始から3年程度までの事業を想定しています。

※実現の形が決定していない構想段階のみの事業は対象外です。

B. 一般枠

事業の在り方が定まりつつあり、さらなる充実を図っている段階、または将来的な自走・継続を見据えた基盤整備や体制づくりを進めている段階の事業。

※応募区分の選択にあたり、当助成からの助成実績の有無は問いません。

※団体の活動年数ではなく、応募する事業の活動年数でご判断ください。

※メンバー構成や事業内容によっては、事務局より応募区分の変更をご相談する場合があります。

※応募区分の判断に迷う場合は、事前に当財団へご相談ください。

助 成 総 額 / 2,000 万円

助 成 件 数 / 10～15件程度を予定

助成金額のめやす / 1件あたり、50万円～上限300万円

※上記をめやすに、事業規模に応じて必要な助成希望金額で応募してください。

助 成 期 間 / 単年度（2027年4月1日～2028年3月31日）

応募方法

応募はウェブフォームを使って行います。電子メール、郵送、FAXでは受け付けておりませんのでご注意ください。
応募方法について不明の点がありましたら、当財団までお問い合わせください。

応募手順／

1	メールアドレスの登録	当財団のウェブサイトアクセスし、手順に従ってメールアドレスを登録してください。 ※メールアドレスのご用意が必須となります。
2	申請書類の作成	登録完了メールに記載のURLよりアクセスすると、申請書類作成フォームが表示されます。フォームに沿って必要事項を入力し、申請書類を作成してください。申請書類は作成の途中で一時保存が可能です。
3	申請書類の確認	作成いただいた申請書類はPDFにしてダウンロードすることが可能です。提出前にPDFにて再度ご確認の上、記入内容にミスがないことを確認してください。
4	申請書類の提出	申請書類が完成したら、応募期間内に「提出」ボタンを押し、提出してください。一度提出されますと、申請書類の変更はできませんので、提出前に必ず内容をご確認ください。 ※提出完了メールに申請書類の控えが添付されます。

受付期間／ 2026 年 10 月 1 日（木）～ 31 日（土） 23 時 59 分

注意事項／

- ・ 電子メール、郵送、ご来所、FAXによる応募は受け付けておりません。
- ・ 不明点がありましたら、当財団までご連絡ください。
- ・ 応募締め切り(2026年10月31日(土)23時59分)の直前は、回線が混雑し送信できない可能性がありますので、時間に余裕を持ってご応募ください。締切直前の回線トラブル等の理由による特別受付はいたしかねます。

[個人情報の取り扱いについて]

申請書類に記載いただいた氏名、年代、所属機関名、部署・学部、役職、住所・連絡先、電子メールアドレス、事業協力者、プロジェクトメンバーの氏名、年代などに関しては「個人情報保護に関する法律」に則り、個人情報として厳正に管理し、下記の目的に限り利用します。

- 1) 応募に対する選考及び選考結果の通知
- 2) 助成決定後の諸手続きの連絡
- 3) ウェブサイト、広報パンフレットなどでの助成対象者決定の公表（氏名、所属機関、職名、活動などの概要、助成金額）
- 4) 当財団内管理業務（成果報告、会計報告提出に関連する連絡業務など）
- 5) 当財団主催事業の案内

選考プロセス

応募書類は選考委員会において厳正に選考し、当財団の理事会で承認を得て決定します。選考のプロセスは下記の通りです。いずれの応募区分においても同様の選考方法です。

選 考 方 法	1次選考：書類選考 ※1次選考通過者には、12月下旬に2次選考の日時・場所をお知らせします。 2次選考：プレゼンテーションまたは書類選考 【当財団からの助成実績がない事業】 事業内容についてプレゼンテーションを行っていただき、選考委員による質疑応答を実施します(対面またはオンライン)。 【当財団からの助成実績がある事業】 成果報告書等により事業内容を確認します。 ただし、事業内容の確認が十分でない場合は、プレゼンテーション選考を実施することがあります。 ※対面で実施する場合、選考会場までの交通費(実費)は当財団が負担します。 ※プレゼンテーション選考を欠席した場合は、助成を受けることができません。
選 考 結 果 通 知	メールにて通知 1 次選考結果：2026 年 12 月下旬 2 次選考結果：2027 年 2 月中旬

選考観点

以下の観点をもとに選考いたします。

- ① 当財団の助成趣旨と合致しているか
- ② 応募資格を満たしているか
- ③ 助成対象事業として期待できるか
- ④ 上記に加え、以下の観点を重視して選考します。

両区分に共通する選考観点	
■事業で行われる表現に、その地域で行われる必然性があるか。 ■地域や社会の課題の捉え方と、表現を通じたそれらへの向き合い方に説得力があり、なおかつそれらが表現自体に落とし込まれているか。 ■事業を通じて地域や社会へよい影響が与えられうるか。 ■一定の具体性と根拠に基づき、申請内容の実現に向けた道筋が描かれているか。	
A. スタートアップ 枠	B. 一般 枠
■今その事業を行う、または立ち上げる意義に説得力があるか。 ■事業を行う地域のステークホルダーと関係性を築こうとしているか。	■事業を継続して地域や社会へ関与しつづけるという意味と、その実現に向けた計画や体制の見通しがあるか。 ■事業を行う地域のステークホルダーと関係性を築けているか。

助成決定後の流れとお願い

助成金の交付／ 採択内定となった個人・団体には助成金交付に必要な書類をお送りいたしますので、期日までに提出ください。2027年3月の当財団理事会承認後、正式な採否をメールで通知し、3月末日までに助成金を指定口座に振り込みます。

助成決定者の義務／ ■活動成果の報告

助成期間終了後、成果報告書と会計報告書を提出してください。

■成果報告会への参加

当財団では、助成を受けた個人・団体を対象に、相互交流や活動ノウハウの共有を目的とした成果報告会を開催しています。2027年度に開催する成果報告会への参加は任意です。2028年度に開催する成果報告会への参加は必須となります。

■当財団の助成による事業の広報（チラシ、パンフレット、WEBなど）や活動記録には必ず当財団の助成を受けていることを明記してください。

全体のスケジュール

2026 年	○ 7月上旬	募集要項の公表
	○ 7月上旬～10月30日	助成に関するお問い合わせ期間
	○ 10月1日～10月31日	応募受付期間 ※10月31日締切
	○ 12月上旬	1次選考（書類選考）
	○ 12月下旬	1次選考通過通知 ※初回申請のみ
2027 年	○ 1月下旬	2次選考（プレゼンテーションまたは書類選考）
	○ 2月中旬	2次選考結果通知（助成対象者内定通知）、諸手続き
	○ 3月上旬	当財団理事会にて助成対象者の承認
	○ 3月下旬	助成金のお支払い
	○ 4月1日～2028年3月31日	2027年度活動実施期間
	○ 夏～秋頃	2026年度成果報告会 ※任意参加
2028 年	○ 5月中旬	成果報告書・会計報告書提出
	○ 夏～秋頃	2027年度成果報告会 ※必須参加

応募方法、よくある質問

応募方法やよくある質問については、ウェブサイトに掲載しております。
ウェブサイトをご確認いただき、ご応募いただけますようお願いいたします。



詳しくは

<https://fukutake-foundation.jp/subsidy/>

福武財団 助成



検索

公益財団法人 福武財団

福武財団は、「Benesse (＝よく生きる)」という理念のもと、直島・豊島・犬島を中心とした美術館事業、日本各地における文化・芸術による地域振興活動への助成事業、瀬戸内国際芸術祭などの支援を行う自主・共催事業を展開しています。文化、芸術によって、活力にあふれた、個性豊かな地域社会の発展に貢献します。

お問い合わせ

公益財団法人 福武財団 助成事業部

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel: 087-892-2550

E-mail: mail@fukutake-grant.jp

※お問合せの際は件名に「助成問い合わせ」とお書きください。